

仮名：	性別：	年齢：	障害名（程度）・区分：
-----	-----	-----	-------------

福祉サービスの利用状況：

検討したいこと（相談支援専門員が支援の中で困っていること）
point :事例検討の目的をはっきりさせる

- ・利用者の対応について検討したい
- ・自分の支援が間違っていないか確認したい

主訴（相談に来た理由、どうしたいか）
point :主訴を出発点にして相談が始まる

- ・福祉サービスを利用してもすぐに行かなくなってしまうので、どこか通えるところはないか

利用者の特徴
point :利用者のイメージをもつ

- ・身長、体重(体格)
- ・性格(表情豊かでよく話す、気弱で気持ちをなかなか言えない、些細なことでも腹を立て高圧的になるなど)
- ・興味関心(お菓子が好き、よく出かける、テレビの〇〇を見るなど)

生活歴（どのような生活を送ってきたか、楽しかったこと、興味を持ったこと、悲しかったことなどのエピソード）
point :利用者がどのような生活を送ってきたかを理解する

- ・学齢期から現在(福祉サービス利用含む)までのエピソードを記入する

〇年〇月 小学校〇〇が楽しかった。〇〇興味があった。〇〇つらかった。

〇年〇月

〇年〇月

*エピソードは要点のみ記載し、演習時は口頭で追加報告してもらいます。

社会的状況（家族関係・友人関係・学校・職場・福祉サービス利用など）
point :利用者を取り巻く社会環境を理解する

- ・生活環境、家族関係、家族以外の関係、余暇の過ごし方、嗜好などを記入する

①誰が困っているのか(本人・家族・学校・職場等)＊複数可

point :誰が困っているのかを理解する

・相談に来た母親が困っているのか、本人が困っていると母親が言っているのか

②いつ頃から困ったことが生じたのか

point :困ったことの前後関係を理解する

〇〇頃から生活介護事業所に行きたがらなくなった。担当職員が辞めた、父が単身赴任で不在となったなど、環境の変化があれば要点のみ記載する

③主訴に対して、様々な情報からあなたはどのように解釈したか（見立て）

point :事実(情報)と解釈(相談支援専門員の考え)を整理する

・〇〇の情報から、〇〇に困っており、〇〇の対応が必要ではないか

④検討したいことに対して、あなたはどのように支援をしてきたか（支援経過）

point :自身があげている検討したいことに対して、今までどのように取り組んだのかを、時系列で整理する

〇月〇日 〇〇のため、本人から話を聞く(内容については口頭で報告)

〇月〇日 本人と一緒に見学に行く予定を立てるが、拒否

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

* 要点のみ記載し、演習時は口頭で追加報告してもらいます。

⑤その結果改善されたか

point :自身の支援の結果について振り返る

・④の支援の結果、〇〇は改善したが、〇〇については改善されていない

・改善されず、進んでいないで困っている

（検討）意思決定支援の展開で気をつけること

演習時に記載

（検討）検討課題に対して具体的な支援方法

演習時に記載